



朝日新聞 大阪本社が“見学ツアーサイネージ”導入!!

「ゆう子でタッチ」で 表示コンテンツを制作・演出

新社屋に移転した朝日新聞大阪本社では、社屋見学ツアー参加者への説明ツールとして、タッチディスプレイとマルチディスプレイを連携させたシステムを導入。タッチディスプレイ「BIG PAD」上の拡大・縮小を含めたタッチ操作で、画面表示を切り替えながら説明を行っている。

表示コンテンツの制作・演出には、タッチコンテンツ制作・運用ソフト「ゆう子でタッチ」を採用。従来のパネル等の小道具を使用するアナログ手法だった説明内容(コンテンツ)を、「ゆう子でタッチ」の様々な機能で演出。見学者の印象に残る、より分かりやすいデジタルコンテンツが表示できる“見学ツアーサイネージ”を完成させた。

■ 発注元

朝日新聞 大阪本社

■ 企画・制作

シャープシステムプロダクト(株)

■ 開発

ビーエム長野(株) デジタルサイネージ事業部

お問い合わせ
ビーエム長野(株) デジタルサイネージ事業部
東京都千代田区二番町 10 番地 3
ビーエム長野ビル
Tel.03-3234-2347 (ダイヤルイン)
E-mail : dsinfo@bmn.jp
DS 事業部ブログ : <http://bmnds.com/>



▲ 朝日新聞 大阪本社のアサコムホールでは、タッチディスプレイ「BIG PAD」上で操作するコンテンツを、60V型 4面マルチディスプレイに映し出し、社屋見学ツアー参加者への説明ツールとして使用している。



▲ 別フロアでの説明にもタッチディスプレイ「BIG PAD」を使用。社屋見学ツアー参加者向けコンテンツの1つである「記者の7つ道具」等ではタッチ操作でのクイズ形式にするなど、内容にも工夫が凝らされている。コンテンツはすべて「ゆう子でタッチ」を使って制作。



▲ 操作画面の背景は“朝と夕方”に配達される新聞をイメージさせる、日の出(上)から日没(下)にかけての空の移ろいが、「ゆう子でタッチ」の標準機能でローテーション表示される。

写真提供：朝日新聞 大阪本社